

委員会レポート

地方創生特別委員会

自動車走行技術を農業に活用



ドローンのデモンストレーション(防災広場)

2月3日 協議会開催

地方創生推進交付金事業の進捗状況が示された。自動走行技術を農業に活用3Dマップを活用し一般公道で社会実験をおこなう。また、ドローン活用によるIoT・IoT農業への技術転用の可能性を調査する。

Q 公道の実験場所は、ハッピネス・ヒル・幸田の周辺2.3kmを予定。
A 農業技術転用とは、衛星を利用し、農産物の自動搬送の可能性を調査する。場所は、久保田の嵐山地区を予定。

低温プラスチック事業

抗酸化イチゴの実証実験からイネなど農作物への展開を図る。
Q イネの実証実験の内容は、名古屋大学の農地で、イネのモミにプラスチックを照射し効果をみる。

企業立地の状況

久保田嵐山地区は、平成28年12月26日に地権者説明会開催。(株)HATAKEカンパニー(茨城県)が進出を予定している。

議員研修会

地方議員の役割と権限

2月13日 開催

幸田町議会は「地方議会の役割と権限」をテーマに、全国町村議会議長会の議事調査部調査係長、皆川貴史氏を講師に議員研修会を開催しました。
① 議会の役割は、政策の立案と提言、行政監視。
② 議会の権限は、議決権、監査の請求権、意見書の提出権、調査権、同意権、承認権、専門的知見の活用など。
③ 議会の活動は、最終意思決定の場である本会議、本会議の下審議機関の委員会、全員協議会



熱心に研修を受ける

(協議または調整の場合)の監視は、よい緊張関係がよい。また、政策を立案し提言することが求められる。など強調されました。



表紙写真
4月6日、議会広報特別委員会で中央小学校入学式の撮影に行きました。ピカピカのランドセルで、新一年生がまぶしそうにそろって仲良くハイポーズ。

見たよ 聴いたよ!

議会



町行政をただす議会を傍聴して

山本 孝
傍聴して感じたことは、議員の皆さんが良く勉強されていて、町行政に対して積極的に質問されていることです。立法として行政を



生の声で聞ける絶好の場所

近藤 茂章
議会傍聴は、地元選出議員の一般質問には、必ず行くようにしておりますが、傍聴者の少なさに驚いております。



ただされている姿は、一町民として頼もしく感じました。
JR駅の無人化も高齢者・障がい者支援も、次世代に影響する非常に大切な課題だと思います。議会が結束し町との連携で、総力での対応を期待します。又、傍聴者が少なく寂しさを感じました。更に開かれた魅力ある議会を目指することも大切だと思います。

私たちの代弁者として議会に送っているわけですから、どのように町民の声が町に、議会に伝わっているか、又、町がどのような計画を持っているかが、生の声で聞ける絶好の場所だと思います。今後も私たちは、議会で町民、区民の代表者として、ふさわしい活動をしているか関心を持ち、見届けていきたいと思っております。

見たよ 読んだよ!

議会だより



読んでもらえる議会だより

市川 万貴
議員の皆様においては、日頃から議員活動にご尽力して頂きありがとうございます。年4回発行される議会だよりは、毎号楽しみに



わが町に目を向けて

竹本 恵美
私はこの幸田町で生まれ育ち、夢であった仕事も、この幸田町ですることができました。今は3人の子どもに恵まれ、母となり、幸



しています。表紙、各紙面には、ほのぼのした写真を取り入れる等、随所に工夫を感じます。一見飽きてしまう一般質問のコナーも的を絞って書かれているので分かりやすいです。町村議会広報コンクールで各賞を取っていることも納得します。これからも読んでもらえる議会だよりの発行をお願いいたします。

田の自然豊かな環境の良さを感じながら子育てに奮闘中です。この議会だよりは、知り合いの方が載っていたことや、偶然にも我が子が表紙に写ったこともあり、より身近に感じて目を通すことが増えました。多くのことが議論されており、目を向けていく大切さを感じました。今後の幸田町の発展が益々楽しみです。

議会はどなたでも傍聴できます。お気軽におこしください。
定例会は、3月 6月 9月 12月に開催しています。
詳しくは、議会事務局 TEL 63-5151 (直通)にお尋ねください。